

A I、R P Aなど新たな技術の活用について

1. 目的

A I^{※1}やR P A^{※2}等の先進技術を活用することにより業務効率化を行い、効率化で生じた時間を新たな行政課題や多様化する市民ニーズへの対応等に割り当てることで、市民サービスの向上を図る。

2. 令和2年度の実施

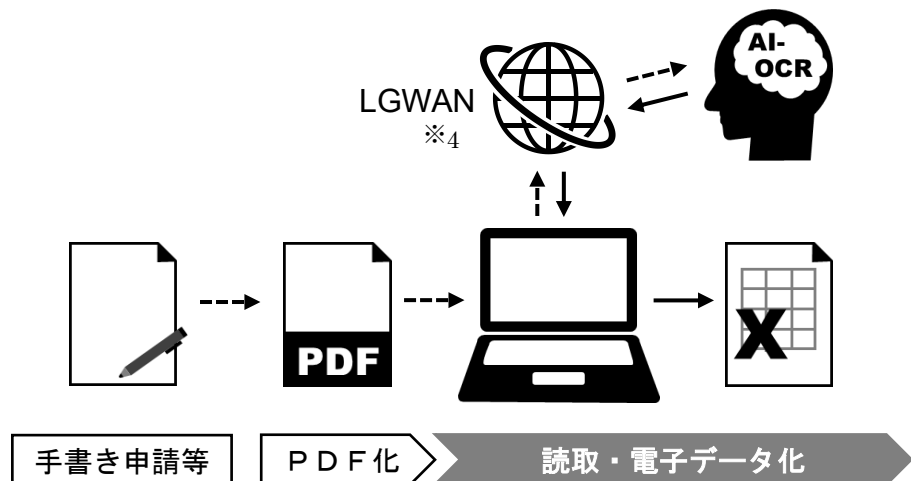
(1) 予算

A I・R P A等先進技術活用事業 39,500千円

(2) A I-O C R^{※3} 取組内容

- 令和2年3月試行導入、4月から本格導入
- 申請書やアンケート等の手書き文字を読み取り電子データ化

<作業イメージ>



➢ A I-O C R活用事例

防災行政無線加入申請書（防災安全課）
 年中児そだちの応援シート（子ども政策課）
 中小企業等緊急支援給付金支給申請書（商工振興課）
 地域農業の将来に関するアンケート（農業振興課）

※1 AI（Artificial Intelligence）：識別・予測・実行の機能を持つ人工知能

※2 RPA（Robotic Process Automation）：人間がパソコン上で行うキーボード入力やマウス操作等の単純作業を自動化する技術

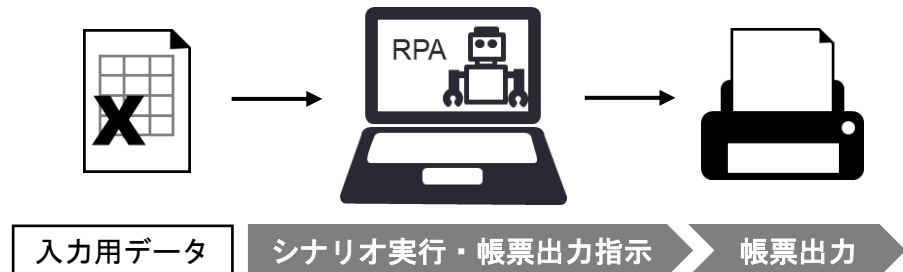
※3 AI-OCR（Optical Character Recognition）：人工知能を活用した光学文字認識

※4 LGWAN（Local Government Wide Area Network）：地方公共団体の組織内ネットワークを相互に接続する行政専用のネットワーク

(3) R P A取組内容

- 住民情報系（住民記録・税・福祉等）の業務にも導入
- 60業務にR P Aを新規導入
- A I - O C RとR P Aの連携によりデータ入力作業をさらに効率化

<作業イメージ>



➤ R P A活用状況

※時間はいずれも年換算推計時間

(単位：時間)

	導入前	導入後	削減時間
①粗大ごみ回収依頼票作成業務（環境施設課）	400	40	360
②就学援助申請判定業務（教育政策課）	170	80	90
③道路・河川ふれあい愛護活動助成金交付業務 （道路河川維持課）	410	140	270
④振込明細書（Fax）送付業務（出納室）	430	30	400
合 計	1,410	290	1,120

【シナリオ作成済】

- ⑤特定健康診断等支払帳票作成業務（健康増進課）
- ⑥母子家庭訪問管理業務（健康増進課）
- ⑦乳幼児健診他スタッフ賃金支払業務（健康増進課）